

28M-am05S

中国産薬用茸 *Phellinus ribis* の生理活性成分研究

○石田 麻美¹, 劉 玉紅¹, 原田 研一¹, 久保 美和¹, 福山 愛保¹ (¹徳島文理大薬)

【目的】 中国産薬用茸 *Phellinus ribis* はタバコウロコ科に属し、ノイバラやウツギの幹に好んで生息する白色腐朽菌で、その子実体は中国では免疫増強や胃腸癌の治療を目的として、古くから用いられている。今回、*Pribis* のメタノール抽出物が NGF 存在下で分化誘導された PC12 細胞に対して突起伸展促進活性を示したので、その活性成分の探索研究を行った。

【方法・結果】 *Pribis* のメタノール抽出物をシリカゲルクロマトグラフィー、LH-20、HPLC で精製した結果、4 種の新規ベンゾフラン誘導体 **1**~**4** と 1 種の既知スフィンゴ糖脂質 **5** の単離に成功した。新規化合物 **1**~**4** の絶対立体配置を含む構造は NMR の解析と CD スペクトルによって決定した。さらに、**1**~**4** に NGF 存在下 1~30 μ M の濃度で PC12 細胞の突起伸展促進活性が認められた。

